



# 第11回「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2019年3月17日

小樽観光大学校

\*合格発表は下記のホームページでご確認できます。

\*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。  
(制限時間90分)

問 1

まちづくり運動は大局的に地域の自立を目指す運動ですが、小樽運河保存運動以来のまちづくり運動は、経済面にどのような貢献をしてきたでしょうか。

1. 人口減少が止まらないのだから貢献しているとはいえない
2. かつて小樽を発展させた海運業や卸売業が復活した
3. インバウンドの増加により貿易業が起こった
4. 観光産業を起こし基幹産業になるほどの貢献をしてきた

問 2

現在の日本の観光において、どの交通機関がいち早く整備されましたか。

1. 自動車
2. 鉄道
3. 飛行機
4. 人力車

問 3

長野県の妻籠自治つまごでいう「三ない主義」とは次のどれでしょうか。

1. 固執しない 悩まない 迷わない
2. 見ない 言わない 聞かない
3. 話さない 觸れない 笑わない
4. 貸さない 売らない 壊さない

問 4

小樽の名勝観光「オタモイ龍宮閣」はいつつくられたでしょうか。

1. 明治32年
2. 大正12年
3. 昭和9年
4. 昭和30年

問 5

安・近・短観光を先導したのは国鉄のあるキャンペーンといわれていますが、それはなんといわれていたでしょうか。

1. ディスカバー・ジャパン
2. サイトシーディング・ジャパン
3. チョイス・ジャパン
4. セレクト・ジャパン

問 6

小樽運河保存運動の契機となった有幌の倉庫群が解体されたのは次のどれでしょうか。

1. 昭和36～38年
2. 昭和46～48年
3. 昭和56～58年
4. 平成6～8年

問 7

小樽運河保存運動で覚醒した三大主張は次のどれでしょうか。

1. 行政改革 条例整備 政治連動
2. 民泊促進 交流促進 宿泊促進
3. 市民世論 地域個性 文化型経済
4. 投資促進 企業誘致 文明型経済

**問8**

小樽市は観光と景観が密接な関係を持つことから、平成4年に「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」を施行し、平成17年に国が「景観法」を施行したのを受けて、「景観行政団体」になりました。それは次のいつでしょうか。

1. 平成18年    2. 平成19年    3. 平成20年    4. 平成21年

**問9**

「小樽雪あかりの路」のコンセプトの中での美しさの「本質」はどこにあるでしょうか。

1. 雪とロウソクのみのストイックなあかりの中にある。  
2. ロウソクと雪が照らし出す街並みにある。  
3. スノーキャンドルなどオブジェのボランティアによる創意工夫にある。  
4. ボランティアの活き活きとした表情の中にある。

**問10**

国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」大賞部門グランプリに輝いた理由の中で最も評価されたものは次のどれでしょうか。

1. 市民ボランティアのみで実行委員会、検討委員会を運営し、市が事務局を担当するというお金のかからない官民連携が評価された。  
2. 外国人ボランティアを多く参加させたことが評価された。  
3. 市民まちづくり運動によって守られた運河や旧国鉄手宮線などの社会インフラ遺産を再利用している事が評価された。  
4. 従来では観光資源として考えられなかった厳寒地の冬の夜という条件を逆手にとって、観光資源としたことが評価された。

**問11**

終了した第21回「小樽雪あかりの路」の現在の実行委員長、西條文雪氏は歴代何代目の実行委員長でしょうか。

1. 2代目    2. 3代目    3. 4代目    4. 5代目

**問12**

第21回「小樽雪あかりの路」の公式発表による入り込み客数は次のどれでしょうか。

1. 45万8千人    2. 46万8千人    3. 47万8千人    4. 48万8千人

**問13**

韓国人ボランティアの団体名は「OKOVO(オコボ)」、中国人ボランティアは「eVOL(エボル)」ですが、日本人の学生合宿ボランティア団体の名称は次のどれでしょうか。

1. 緑    2. 青    3. 橙    4. 鶯

**問14**

雪あかりの路の会場で、メイン会場ではないのは次のどれでしょうか。

1. 運河会場    2. 小樽芸術村会場    3. 手宮線会場    4. 朝里川温泉会場

**問15**

(　　)内に該当する言葉を選びなさい。

第21回「小樽雪あかりの路」のキャッチコピーは「心の灯火、(　　)にのせて・・・」

1. 雪    2. 吹雪    3. 風    4. 夜空

**問16**

小樽雪あかりの路は、作家の伊藤整の詩集「雪明りの路」から命名されました。その詩集に納められている一篇の詩がイベントのイメージとなっています。それは次のどれでしょうか。

1. 冬夜 2. 雪の夜 3. 雪夜 4. 雪解

**問17**

運河公園北側に3棟連続した北前船主の倉庫の名称と並びの順で正しいのは次のどれでしょうか。並びの順は倉庫正面から見て、左は運河公園側、右は総合博物館側とする。

1. 増田倉庫・中村倉庫・右近倉庫
2. 中村倉庫・右近倉庫・増田倉庫
3. 増田倉庫・広海倉庫・中村倉庫
4. 増田倉庫・広海倉庫・右近倉庫

**問18**

旧日本郵船(株)小樽支店のガイドをしています。間違っているのは次のどれでしょうか。

1. この建物は、明治39年、佐立七次郎の設計により建てられた石造建築で、国指定重要文化財となっています。
2. この建物には3つの玄関があります。正面表玄関の床には大理石が敷き詰められ、格調高い仕上げとなっています。
3. 日本郵船株式会社は明治18年に郵便汽船三菱会社と共同運輸会社が合併した会社で、昭和初期には世界に誇る商船会社となりました。
4. 2階会議室は198平方メートルの広さがあり、大テーブルと36個の椅子が配置されています。

**問19**

北浜橋の上でガイドしています。正しい内容でガイドしているのは次のどれでしょうか。

1. 運河散策路にはモニュメントが設置されていますが、この北浜橋にも一基設置されています。それが、この「友達」というタイトルのモニュメントです。
2. この橋の上から運河を見ると、建設当時の幅の広さがよく分かります。かつて小樽運河では船による荷揚げ作業が行なわれ、沖仲仕・陸仲仕・蔵仲仕・船人夫など約1,500人の海運労働者がいたといわれています。これらの労働者は米2俵(約130kg)を担いで「歩み板」を渡れる程の体力がありました。
3. すぐ前にある建物は旧渋澤倉庫です。特徴は、大きな切妻屋根を架けた本体の前面に2棟の角屋が突き出る変わった形をしています。向かって左手が一番古く明治25年頃に建てられた棟。その後右棟を並べて建て、次いで2棟をあわせた大屋根を架けて、今の姿になりましたといわれます。
4. 北海製罐(株)小樽工場は大正10年代から昭和20年にかけて建てられ、小樽の鉄筋コンクリート造では初期の建物です。龍宮橋の左側に見える第3倉庫は、建築当初から荷物を揚げ降ろしするためのエレベーターや製品を運河へ搬出するためのスパイラルシートがあり、機能的な設計がされています。

**問20**

旧日本郵船の前の通りを札幌方向に歩き、龍宮通りとの交差点につきました。ここで次のようにガイドしています。この建物名は次のどれでしょうか。

「この建物は木造3階建で大正9年に建てられました。特徴は3連の窓、下見板張りの壁で、建物の四隅の柱は3階部分まで一本柱という、とても珍しい建築です。ハイカラなイメージでいつまでも残ってほしいですね。」

1. 前掘商店 2. 戸羽商店 3. 小堀商店 4. 早川支店

### 記述問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい。（箇条書きは不可）

1. おたる案内人一級、マイスターに向けての学びをされた中で、あなた自身の興味で、もっと詳しく調べて研究してみたいテーマは何ですか。その理由も書きなさい。

（まちづくり観光論より出題）

2. 「小樽雪あかりの路」を今後も継続していくための課題は何だと思いますか。解決法も明記し簡潔に書きなさい。

（観光資源論より出題）

---

### 総合記述問題

次の設問に600字前後（全体で）の文章で述べなさい。（箇条書きは不可）

民間シンクタンクのブランド総合研究所は2018年10月に全国1,000市区町村と都道府県の魅力度ランキングを発表しました。市区町村のベスト10に、北海道では函館市、札幌市、小樽市、富良野市の4市が入り、小樽市は前年に続き全国第4位となりました。

このように全国のなかで魅力度の高いランクに位置する小樽市ですが、小樽に魅力を感じると答えた方は、このまちの何に一番魅力を感じていると思いますか。また、あなたは何が魅力だと思いますか。

次の2点について書きなさい。

- ①回答者が魅力と感じたと思われるポイント名と、その理由を書きなさい。

\* 例えば・・・坂とまちなみ・・・理由として、歴史を感じる建物や落ち着いた景観  
お寿司・・・・安くて新鮮なイメージ・・・

- ②マイスターを目指すあなたなら、小樽を魅力あるまちだと感じてもらうためには、何をどのように伝えますか。具体的に書きなさい。

\* 例えば・・・小樽運河の魅力・・・北運河を紹介することで、小樽の成り立ちを深く知り、散策が楽しいまち  
・・・小樽の四季や自然・・・市街地から30分で本格的なスキー場やクルージングを楽しむことのできるまち